

理の方法等を実在構造物  
補強技術の構築、維持管  
化・変状の評価、補修・  
月)に次ぐもので、劣  
橋の損傷把握(26年11  
月)、新狹田地域の道路  
化の視察(平成24年9  
湯沢地域における橋梁劣  
今回の現場研修会は、  
現場研修会を開催した。

上・山北地域の海岸に隣  
接するコンクリート構造  
物の劣化・変状について  
現場研修会を開催した。  
今回の現場研修会は、  
湯沢地域における橋梁劣  
化の視察(平成24年9  
月)、新狹田地域の道路  
橋の損傷把握(26年11  
月)に次ぐもので、劣  
化・変状の評価、補修・  
補強技術の構築、維持管  
理の方法等を実在構造物

## 豊司コンクリート診断士会 研鑽深めた現場研修会

2016年10月31日

建設ジャーナル



コンクリート診断士  
から探ることにより、診  
断士の実践的な技術方  
断士の資格者から  
向上を図ることを目的  
の「新潟県コンクリー  
ト診断士会」(会長・地  
濃茂雄新潟工科大学名  
教授・会員14名)は  
8月30日、台風10号接近  
の影響を受けながら、村  
長引率の下にRCCの校

舎体育館、橋梁、隧道  
等、経年30年から50年の  
構造物を診て回り、意見  
を交わしながら劣化・変  
状箇所をメモし、カメラ  
に収めた。  
参加した仲村友夫氏  
(シグマ設計)は研修会  
後に「校舎体育館の外壁  
等に診られるひび割れは  
内部鉄筋に沿って発生し  
ていて、そのひび割れの  
程度は方位・建物形状・  
部位によって異なってい  
た。こうした事象からす  
ると、風雪等によって輸  
送されてきた海塩粒子が  
コンクリート表面に付着  
し、それに起因した塩害  
構造物の寿命は材料・施  
工・環境等の要因に大き  
く左右されることを認め  
て認識し、維持管理やメ  
ンテナンスを確実に行う  
したい」と意見を述べた。  
同じく、丸山聡氏(タ  
ミアツク)は、RCC橋  
梁の劣化を診て「橋座の  
拡幅で増打ちされたコン  
クリートにひび割れ、剥  
離が散見された。後で増  
打ちするコンクリートの  
豆板やひび割れが発生し  
やすい。その対策例とし  
て、流動化コンクリート  
や膨張剤の使用が有効で  
はないか」。加えて「塩害  
環境下の構造物の長寿命  
化を図るには、エポキシ

化を図るには、エポキシ  
樹脂塗装鉄筋の使用も考  
えられる」とした。また、  
隧道において築15年後に  
施された塩害補修の塗装  
から26年後の変状につい  
て、「コンクリート表面  
塗装による延命効果の大  
きさを実感した。しか  
し、鉄筋腐食先行型のひ  
び割れが一部に診られた。  
完全な補修には塩化物イ  
オンをできるだけ内在さ  
せない工法が必要」とコ  
メントした。  
大湊豊氏(新潟県建設  
技術センター)は「現場  
研修から、コンクリート  
構造物の寿命は材料・施  
工・環境等の要因に大き  
く左右されることを認め  
て認識し、維持管理やメ  
ンテナンスを確実に行う  
ことは安心・安全な状態  
で長く供用するうえで不  
可欠」と見方を示した。  
さらに、「職務上の材料  
試験において、試験精度  
の向上や真値に近いデー  
タの提供に日々練磨し、  
抱負を述べた。  
なお、10月28日(金)後  
1時30分から、新潟中央  
図書館・ほんぼーにお  
いて、今回の現場研修会  
場無料)が開かれる。ま

※問い合わせは同会事  
務局・遠藤潤局長(網ク  
リエントセンター内 電  
話025-2332-71  
21 FAX025-  
232-7129)。

た、次回現場研修会は本  
年11月、上越地域で実施  
の予定。  
※問い合わせは同会事  
務局・遠藤潤局長(網ク  
リエントセンター内 電  
話025-2332-71  
21 FAX025-  
232-7129)。